

学校環境衛生検査票「換気及び保温等」

学 校 名					天候	
学校担当職員氏名			学校薬剤師氏名			
検 査 日 時	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分					
測 定 場 所	普通教室 ・ その他 ()					
教 室 名 称						
教 室 位 置	棟 階					
教 室 容 積	m ³ (縦 m×横 m×高さ m)					
在 室 人 員	人 (児童生徒 人、教職員・検査員 人)			授業の内容		
窓 の 開 放 状 況	廊下側	全開・一部開・閉		天 窓 の 開 放 状 況	廊下側	全開・一部開・閉
	外気側	全開・一部開・閉			外気側	全開・一部開・閉
冷・暖房機の状況	有 (恒常的に稼働・随時稼働) ・ 無			種 類	エアコン・他 ()	
	燃焼機器の使用	有 () ・ 無			灯油・ガス・他 ()	
項 目	測 定 結 果			外 気	基 準	
温 度	℃			℃	17~28℃であることが望ましい	
相 対 湿 度	%			%	30~80%であることが望ましい	
換 気 (二酸化炭素) ①始業時 ②15分後 ③30分後 ④終業時 1回の測定の場合 は④に記入	①	ppm		/	1,500ppm以下である ことが望ましい (外気は400ppm程度)	
	②	ppm				
	③	ppm				
	④	ppm				
浮遊粉じん ^{※1}	mg/m ³ ・ 省略			年 月 日測定 (mg/m ³)	0.10mg/m ³ 以下	
気 流 ^{※2}	m/秒			/	0.5m/秒以下である ことが望ましい	
一 酸 化 炭 素 ^{※3}	ppm				10ppm以下	
二 酸 化 窒 素 ^{※3}	ppm				0.06ppm以下である ことが望ましい	
^{※1} 温・湿度、又は流量を調整する設備の使用時に測定するが、検査の結果が基準値の1/2を下回る場合には次回省略可。 ^{※2} 温・湿度、又は流量を調整する設備の使用時に測定する。 ^{※3} 燃焼器具を使用していない場合に限り、省略できる。						
所見欄						